

**【令和4年度】渋谷区LINE公式アカウント
「渋谷おとなりサンデー」
に関するアンケート調査結果**

【アンケート概要】

■ アンケート実施方法

LINEアンケートによる定量調査

■ アンケート対象条件・回収数

対象条件・・・渋谷区在住の18歳以上の人

回収数 合計2,373人

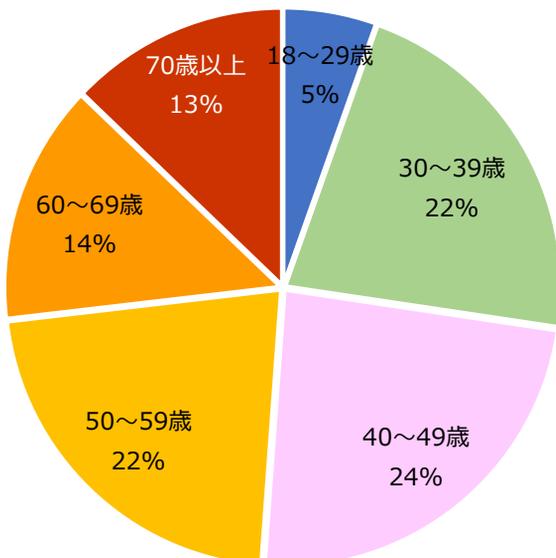
年齢別	(人)			エリア別	(人)
	全体	「渋谷おとなりサンデー」認知者	「渋谷おとなりサンデー」参加経験者		全体
18～29歳	129人	9人	1人	笹塚・幡ヶ谷・初台・本町周辺	707人
30～39歳	520人	150人	27人	代々木上原・代々木八幡周辺	407人
40～49歳	565人	241人	59人	千駄ヶ谷・原宿・神宮前周辺	539人
50～59歳	522人	200人	25人	渋谷駅周辺	264人
60～69歳	332人	126人	10人	代官山・恵比寿・広尾周辺	456人
70歳以上	305人	117人	25人	その他	0人
総計	2,373人	843人	147人	総計	2,373人

■ アンケート実施期間 2022年11月1日～11月7日

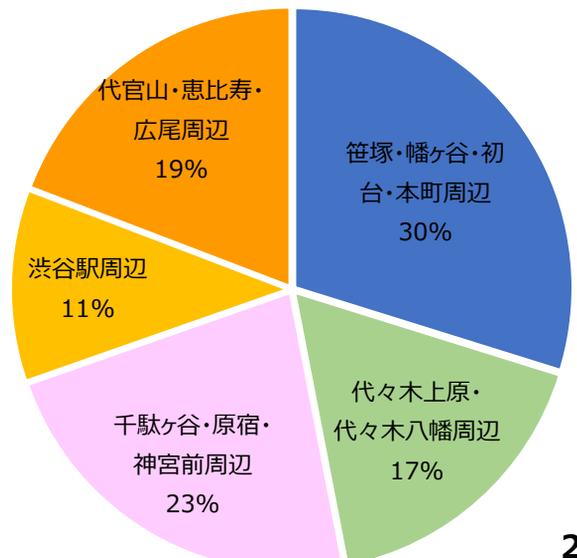
【調査結果】

回答者情報

年齢

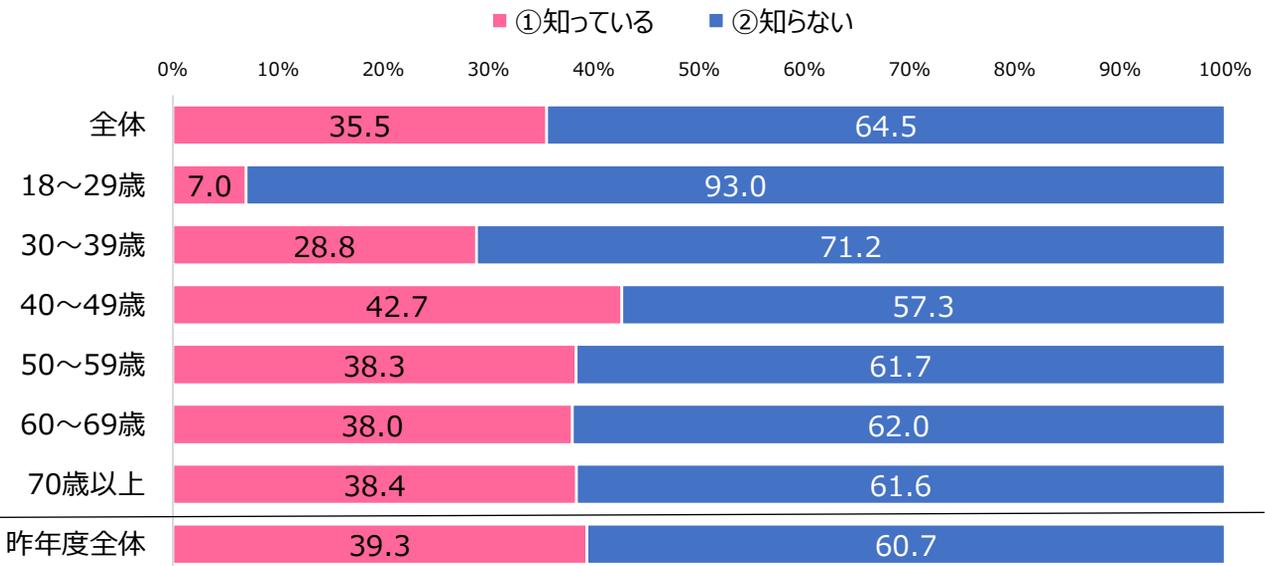


居住エリア



Q1. 渋谷区では、平成29年から毎年6月に“普段話す機会の少ない近隣の人と顔見知りになるきっかけづくり”として「渋谷おとなりサンデー」を実施しています。この取り組みについて知っていますか。

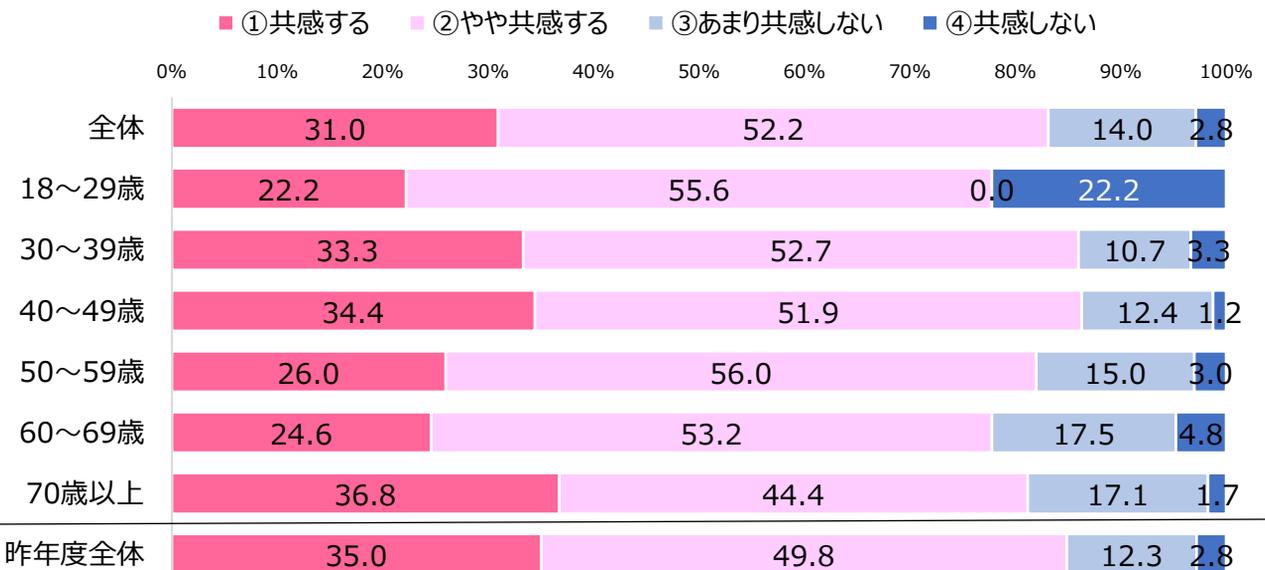
「渋谷おとなりサンデー」の認知度は約35%で、昨年度と比べると約4pt減少しました。40代以上では4割強が認知していますが、30代以下では3割未満となっています。



Q2. 「渋谷おとなりサンデー」の取り組みに共感しますか。

※「渋谷おとなりサンデー」認知者（全体843人）が回答

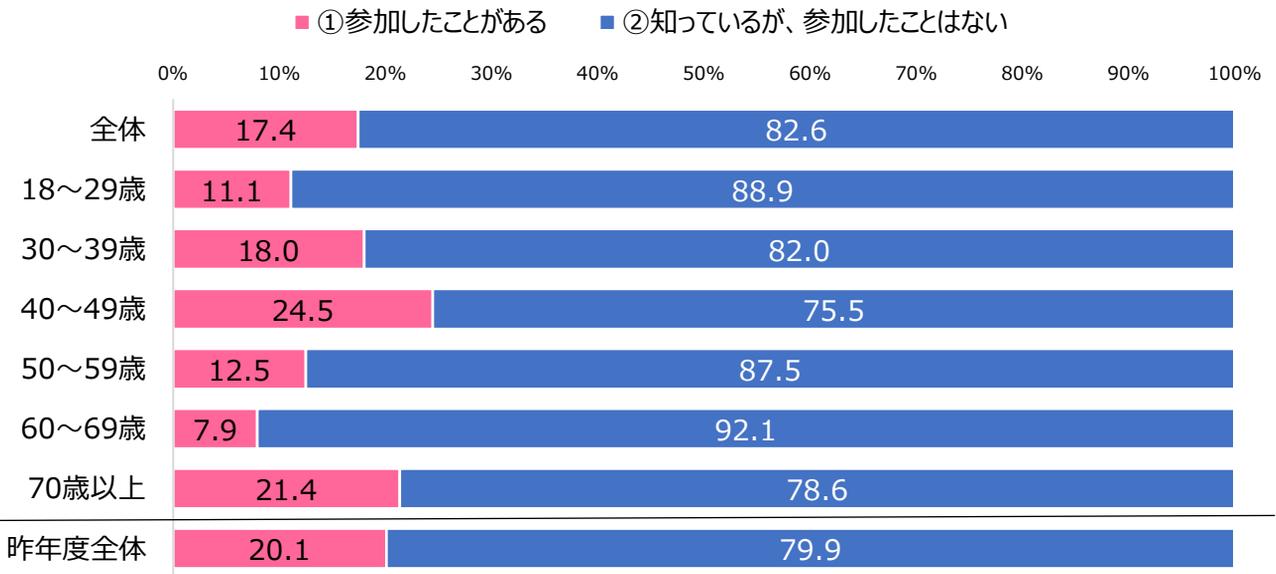
「渋谷おとなりサンデー」の共感度は83%で、昨年度とほぼ同程度となっています。どの年代からも8割前後の共感を得ており、特に30～49歳がやや高めです。



Q3. これまで、「渋谷おとなりサンデー」を通じて、地域の交流機会に参加したことはありますか？ ※1つを選択

※「渋谷おとなりサンデー」認知者（全体843人）が回答

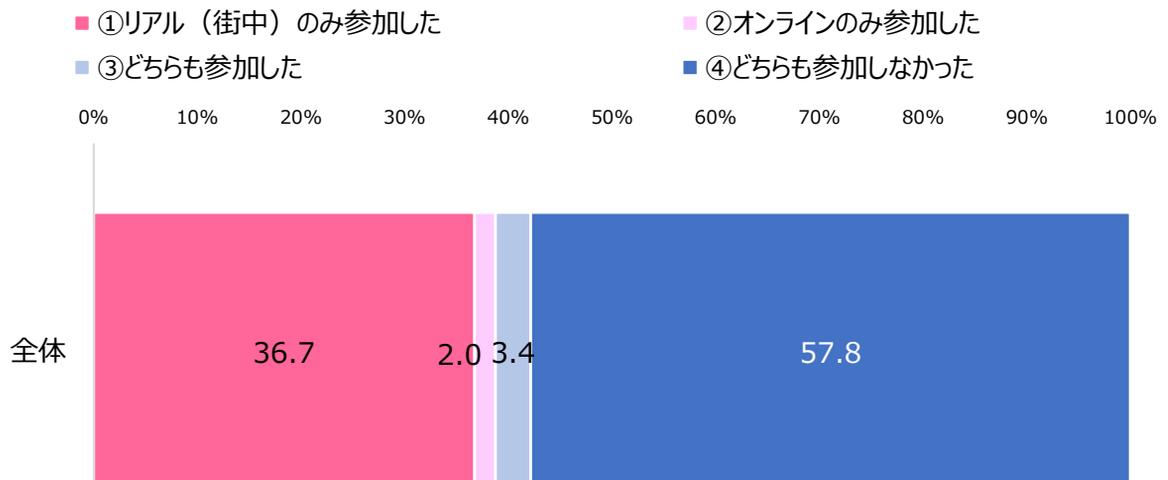
「渋谷おとなりサンデー」を通じての地域の交流機会への参加経験は17.4%で、昨年度より2.7pt減少しました。
40～49歳や70歳以上の参加経験は、他年代に比べてやや高いようです。



Q4. 令和4年度の「渋谷おとなりサンデー」に参加しましたか。 ※1つを選択

※「渋谷おとなりサンデー」を通じた地域交流会参加者（全体147人）が回答

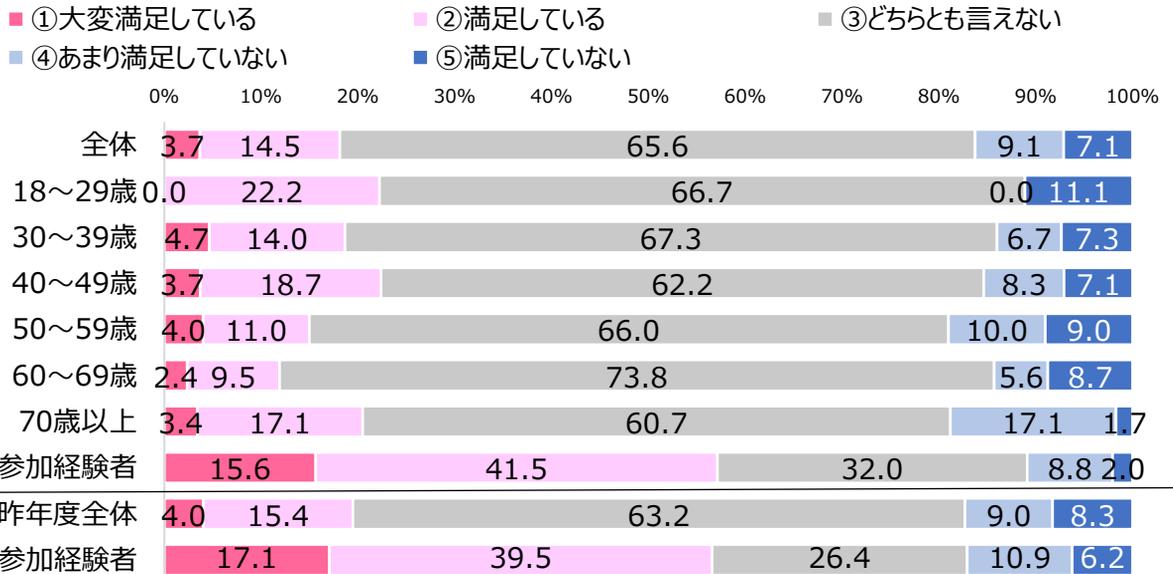
「渋谷おとなりサンデー」への参加は、「リアル（街中）のみ参加」が約37%、「オンラインのみ参加」2.0%、「どちらも参加」3.4%で、いずれかへの参加率は約4割でした。



Q5. 「渋谷おとなりサンデー」についての評価をお聞かせください。

※「渋谷おとなりサンデー」認知者（全体843人）が回答

「渋谷おとなりサンデー」の満足度は約18%で、昨年度とほぼ同程度。
参加経験者で比較すると、今年度の満足度は約57%となりました（昨年度参加経験者と同レベル）。年代別でみると、40～49歳や70歳以上が他年代に比べてやや高い評価となっています。

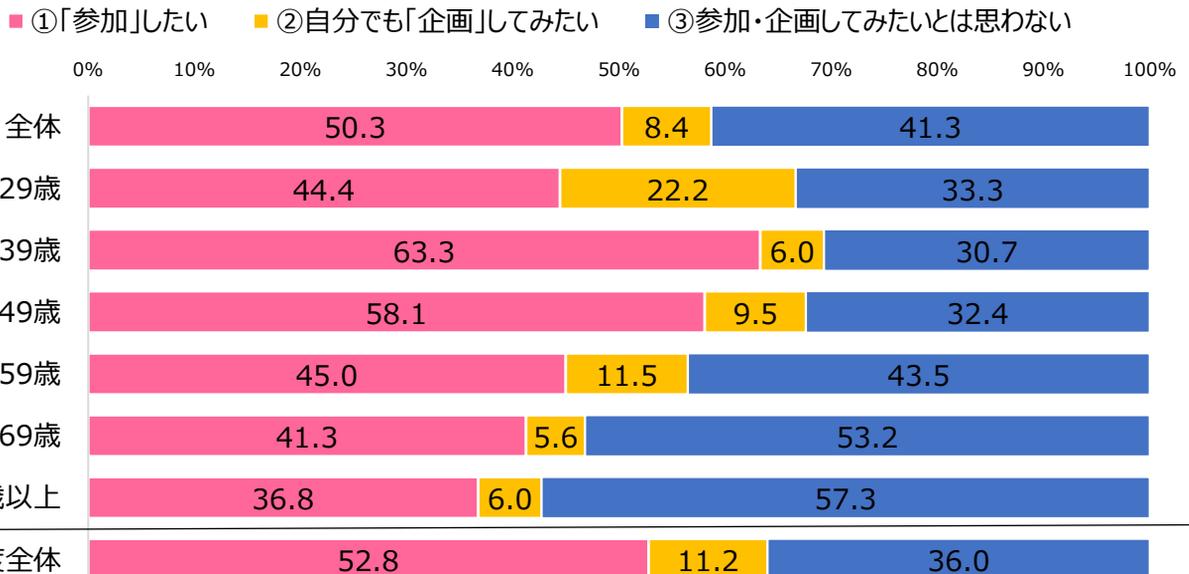


Q6. 今後のおとなりサンデーに、「参加したい」もしくは「企画してみたい」と思いますか？

※1つ選択

※「渋谷おとなりサンデー」認知者（全体843人）が回答

おとなりサンデーへの参加意向は約50%、企画意向は約8%で、いずれも昨年度よりほぼ同程度の結果となっています。昨年に引き続き、参加意向は30～49歳が高く6割前後となっています。



Q7. おとなりサンデーへの参加を、他の人にもすすめたいと思いますか。

※「渋谷おとなりサンデー」認知者（全体843人）が回答

おとなりサンデーへの参加推奨度は約28%で、昨年度より6.7pt減少しました。
また参加経験者で比較すると、今年度の参加推奨度は65%で、昨年度より9.1pt減少しています。
60～69歳の推奨度は他年代より低く、約18%にとどまっています。

